



緊急市民アクション



原爆投下を正当化するトランプ大統領の暴論に抗議！

6月26日(木)夕方、原爆ドーム前で、アメリカ・トランプ大統領がNATO首脳会議の場で、イランの原子力施設に行った米軍の空爆を広島、長崎の原爆投下に例え、戦争を終わらせた点で本質的に同じ、と語ったことに抗議する「緊急市民アクション」が開催され50名が参加。広島県被団協と広島県原水協が呼びかけました。

被爆者、被爆2世、黒い雨訴訟原告そして被爆証言伝承者から6名がリレートークしました。

■思い出しにくい辛い80年

島の新婦人は原爆展を開催したり被爆証言集を発刊し続けている。唯一の戦争被爆国の日本政府にも怒りを感じる。今年の原水爆禁止世界大会をみんなの力で成功させよう、と呼びかけました。

■被爆者は、生涯虐待されている

被爆証言伝承者の藤川さんは、被爆者が80年間、自らの命を削りながら核兵器を絶え絶えしてきたことを足蹴にする発言だ。医師からは、被爆者は生涯虐待されている、と聞いたと語気強く発言しました。

被爆による心身の苦しみや辛さ、そして差別を受けながら生き抜いてきた80年は重く耐えがたい年月であり、さらに気持ちを支えるトランプ大統領の発言を許さない抗議集会となりました。

広島自治労連連続学習会 「聞いて 知って 私たちの仕事」開催！ 第10回 ♪ 専門性・継続性・公平性・公共性

6月19日(木)、広島自治労連連続学習会「聞いて 知って 私たちの仕事」第10回目が広島自治労連の会場・オンライン併用で開催され、30名が参加、仲間の仕事について学びました。



広島市職労保育園支部 役員 志田奈津子さん

志田さんは、子どもたちの命を預かり、さらにその育ちを支える仕事だと思っている、と話され、本当に保育士というお仕事に誇りを持っておられると感じました。

次に、広島市会計労組の亀井執行委員長より、嘱託職員制度導入に際し嘱託連絡会をもったことから会計労組結成に至った経過を報告していただきました。



広島市会計労組 亀井正美執行委員長

現場で正規職員と同様の仕事をこなす会計年度任用職員が増加する中、その処遇格差について声をあげていく必要があると感じました。

被爆80年 ひとりで1つ★ 平和の行動に参加しよう

広島自治労連は、住民が幸せに暮らし続ける大前提は「平和」であることと位置づけ、今年は特にさまざまな取り組みへの参加を呼びかけています。みなさん、どれか1つでOK！核兵器廃絶への歩みを前進させましょう

- 国民平和大行進 短時間でもOK！一緒に歩こう♪
“東京～広島Aコース”
8/2(土)9:10呉市役所出発式～9:30出発～12:30吉浦駅着
8/3(日)8:40坂町役場出発式
～9:00出発～12:20安芸区役所着
8/4(月)8:45府中町役場出発式～9:00出発
～11:30原爆ドーム前着～集結集会
“富山～広島コース”
8/2(土)9:10安佐北区役所出発式～9:30出発
～12:30安佐南区所着
8/3(日)9:30安佐南区役所出発式
～9:40出発～11:30新庄橋着
8/4(月)9:20新庄橋出発式
～9:30出発～11:30原爆ドーム前着
～集結集会
“東京～広島Bコース”
8/4(月)9:35南区役所出発式～9:45出発
～11:30原爆ドーム前着～集結集会
- 2025原水爆禁止世界大会
組合員については参加費を県本部が負担します
8/4(月)被爆80年特別プログラム「被爆体験の伝承と未来」
14:00～16:30 グリーンアリーナ大アリーナ
8/5(火)フォーラム、分科会 14:00～16:30 会場は広島市内
8/6(水)10:30～13:00 ヒロシマデー集会 グリーンアリーナ
- 広島市職員慰霊献花行動 8/6(水)9:00 広島市役所前庭

お問い合わせは
広島自治労連へ
Tel.082-243-9240
email
hjrouran@urban.ne.jp

介護福祉労組

6月24日(土)、広島介護福祉労働組2025年定期大会を広島自治労連会議室で開催、官民の福祉現場で働く仲間が参加しました。

1年間の経過報告に続いて、運動方針として、介護労働者の待遇改善にむけアンケートに基づく要求交渉、県内の福祉労働者と連帯し、高齢者や障害児者をはじめ住民の福祉増進に取り組もうと提案。現場からは調査員の増員があったこと、業務の効率化、医療・介護・障害福祉報酬の増額改定で待遇改善・人員確保が急務であること等の発言が続きました。

広島市児童館労組

6月17日(火)、グリーンアリーナで広島市児童館指導員労働組合第52回定期総会を開催、64名が参加しました。大上執行委員長は挨拶の中で、共済キャンペーンの目標達成や交渉での賃金アップ獲得など一年の成果を述べるとともに、館長やベテラン指導員の待遇・給与問題について今後も団結して取り組む必要があるとまとめました。

市社会福祉事業団労組

6月20日(金)、広島市社会福祉事業団労組第29回定期大会を県本部会議室からWeb開催で行い、44名がWeb参加しました。

どの職場も欠員を抱えながら、日々の業務に奮闘していますが、嘱託賃金の遡及、一時金の正規と同等の支給を達成する等の成果もあり、組合の重要性を改確認しました。

留守家庭子ども会労組

6月23日(月)、グリーンアリーナで広島市留守家庭子ども会労組第53回定期総会を『子どもたちに豊かな放課後を 私たちに豊かな職場を』のローガンのもと開催、87名が参加。

広島市関連労組連絡会の統一交渉や、広島市内で開催する全障研全国大会成功に向け、団結して取り組む事を決意しました。

単組の定期大会・総会で運動の前進へ意思統一

昨年度の活動経過報告や戦後80年、平和のメッセージを込め、今年度の運動方針を決定しました。長年の欠員解消、有料化に伴う現場の負担軽減、指導員の処遇改善、保育環境の改善等を求め引き続き担当課と協議を重ね問題点を解決していきます。